

# 万代の風

万代コミ協だより第33号

2019年(令和元年)7月15日

万代地域コミュニティ協議会

発行者:丸田 喜也

新潟市中央区天明町19-16

＝ 川風、海風、萬代橋 心地よいそよぎのまち ＝

## 地域の皆さまとの

### 交流と協働に感謝

新潟市  
中央区長 渡辺 東一

盛夏の候、万代地域コミュニティ協議会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。



ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年4月に中央区長に就任以来、各コミュニティ協議会の総会や地域のお祭りなどにご招待していただき、一様ではない各地域の課題をうかがってまいりました。

万代地区におきましては、新潟駅の高架化工事の進捗に伴い駅南・北の一体的なまちづくりが進められており、今後さらに駅前広場の整備などが行われることで、まちの様子も大きく変わっていくことが予測されます。人の往来が増え、地域の活性化が期待される一方で、防犯対策の強化など新たな課題もでてくるものと思えます。また、先月18日の夜に山形県沖を震源とする地震が発生し、幸いなことに本市の被害は少なうございますが、こうした自然災害

への備えも大変重要であると再認識いたしました。

こうした中、貴コミュニティ協議会におかれましては、日頃より駅前地区健全化パトロールや防災訓練などを通じて地域の安心・安全の確保に尽力され、また、フロアカーリング講習会や三世代交流大運動会、スケートを楽しむ会の開催など世代間の交流や地域の活性化に資する活動にも積極的に取り組んでおられることに心より敬意を表します。

しかしながら、地域における課題はまだ山積しており、残念ながらそのすべての課題を行政のみで解決することはなかなか難しいと考えています。コミュニティ協議会をはじめとする地域の皆さまとさらに協働を深め、各種課題に取り組んでまいりたいと考えていますので、今後もしよろしくお願いいたします。

結びに、万代地域コミュニティ協議会の益々のご活躍が地域発展の大きな礎となることをご祈念申し上げます。私からのご挨拶とさせていただきます。

令和元年

万代地域コミュニティ協議会

組織及び役員

- |          |       |
|----------|-------|
| 会長       | 丸田 喜也 |
| 副会長      | 関谷美紀枝 |
| 副会長      | 大屋 和弘 |
| 副会長      | 薄田 稔  |
| 万代地区社協会長 | 田所 暁雄 |
| 広報担当     |       |

- |      |            |
|------|------------|
| 事務局長 | 武田 徳広      |
| 会計理事 | 丸山 健一      |
| 会計監査 | 宮川 善徳      |
| 会計監査 | 肥田野芳次      |
| 理事   | 自治町内会長 15名 |

- |             |       |
|-------------|-------|
| 出向役員        | 飯田 陽子 |
| 自治協議会委員     | 薄田 稔  |
| 万代地区社会福祉協議会 | 保坂 玲子 |

- |                |       |
|----------------|-------|
| 中央区住みよい郷土推進協議会 | 関谷美紀枝 |
|----------------|-------|

### 部会

- |       |          |
|-------|----------|
| 総務部会  | 部長 丸田 喜也 |
| 福祉部会  | 部長 竹石 三伸 |
| 防災部会  | 部長 本多 功  |
| 青少年部会 | 部長 田中 和弘 |
| 健康部会  | 部長 石原 直子 |
| 副部長   | 塩田 美幸    |
| 副部長   | 大宮 一真    |

- |           |       |
|-----------|-------|
| 自治会・町内会会長 | 吉沼 和義 |
| 宮浦自治会     | 丸田 喜也 |
| 天明町自治会    | 坂井久夫  |
| 万代6丁目自治会  | 丸山 健一 |
| 東大通2丁目自治会 | 関谷美紀枝 |
| 神明自治会     | 千葉久美子 |
| 宮浦高耐自治会   |       |

- |           |       |
|-----------|-------|
| 三和町自治会    | 高橋 潔  |
| 東方代町自治会   | 糸川 裕  |
| 万代中央自治会   | 鎌倉 栄一 |
| 花園1丁目町内会  | 大原 富栄 |
| 花園2丁目町内会  | 塩田 美幸 |
| 明石1丁目町内会  | 野口 幸一 |
| 東大通1丁目自治会 | 大屋和弘  |

- |                |       |
|----------------|-------|
| 萬代橋町内会         | 肥田野芳次 |
| 萬代令和町内会        | 浅妻清代志 |
| 地域内に活動拠点を有する団体 | 樋口 俊成 |
| 消防団万代分団        | 滝沢 和也 |
| 万長小PTA会長       | 丸田 喜也 |
| 民生委員児童委員協議会会長  | 本多 功  |

- |               |       |
|---------------|-------|
| 万長小教育コーディネーター | 塩田 美幸 |
| 万代太鼓和童・青年部    | 川口 泉  |
| 児童育成・万代クラブ会長  | 植木 信一 |

- |              |          |
|--------------|----------|
| 万代地区防火防犯防炎役員 | 会長 大屋 和弘 |
| 副会長          | 田中 克典    |
| 副会長          | 五十嵐 勉    |
| ブロック長        | 霜鳥 清一    |
| ブロック長        | 飯田 利一    |
| ブロック長        | 小熊 雅幸    |
| 事務局          | 浅妻 久和    |
| 会計           | 竹石 三伸    |
| 会計監査         | 土岐 栄治    |
| 婦人部長         | 近藤 尚子    |
| 副部長          | 赤星亜紀子    |

- |             |       |
|-------------|-------|
| 万代地区民生委員の方々 | 本多 功  |
| 丸田美智子       | 飯田陽子  |
| 黒井順子        | 遠藤智昭  |
| 宮川善徳        | 安倍静江  |
| 薄田 稔        | 関谷美紀枝 |
| 丸山英子        | 塩田美幸  |
| 野口恵美子       | 大宮一真  |



**万代地域コミ協令和元年度事業計画**

- ◆ 広報委員会（総務部）  
 広報誌の発行 第33号～、セミナー（後援会の実施）
- ◆ 街づくり部会  
 東新潟中央自治連合会関連事業、地域内各種建築、土木工事の窓口
- ◆ 福祉部会  
 社会福祉協議会関係事業、民生委員関連事業、敬老会関係事業
- ◆ 防災部会  
 防災訓練関係事業、避難所運営検討会（宮浦中・万代長嶺小・万代市民会館）、消防団関係事業、駅前地区健全化パトロール年12回実施
- ◆ 健康部会  
 スポーツ振興会共催事業、フロアカーリング講習会（R01年7月）、三世代交流運動会（R01年9月）、いきいき体操教室（R01年10月）、スケートを楽しむ会（R02年2月頃）、長嶺コミ協健康福祉部共催・おはよう朝ごはん料理講習会
- ◆ 青少年部会  
 長嶺コミ協青少年部共催事業・デイ（サマー）キャンプ（R01年7月）・お楽しみ会（R02年3月頃）、各部助成（万代太鼓和童／青年部等）セーフティスタッフとりまとめ
- ◆ 総務部～事務局  
 ホームページによる情報発信・管理



地域コミュニティの  
 衰退に危惧の念!!  
 万代地域コミュニティ協議会  
 副会長 防災部会長  
 大屋 和弘

新年度を迎え、各自治会でも新役員での活動が始まりました。自治会は、地域コミュニティの中心的存在です。その自治会では最近同じ人に役員が固定化しないように任期が1から2年での順番制の短期自治会役員で活動をしている自治会も増えてきました。自治会の

役員の担い手不足という課題は、そのままコミ協の課題にも繋がっています。この課題は、全国的でもあり『地域コミュニティの衰退化』が進んでいるようです。やはり人口の減少や高齢化社会が地域運営を困難にしているのでしょうか。地域コミュニティが衰退し始めるといういろいろな場面で影響が出てきます。その一つが防災です。平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、倒壊した家屋等に閉じ込められながらも、救出された人々の多くが家族や地域住民による救助でした。防災部会では、防災意識の向上と地域のつながりを考え、毎年「総合防災訓練」を実施しています。去年は万代長嶺小

学校の「ばんなが防災デー」と合わせて実施しました。参加者も800人をこえ、毎年参加することにより地域のつながりにもなることと思えます。今年の総合防災訓練は、9月29日（日）です。訓練内容は、AEDの使い方心肺蘇生法、初期消火訓練、濃煙テント体験、津波避難訓練、搬送、応急手当訓練、災害時避難行動要支援者への協力（車いすの正しい使い方）、炊き出し訓練等です。正しい知識を身につければ、日常生活にもきつと役に立つ訓練内容があると思います。流石な地域では最近大きな災害が発生しておらず、皆さん防災意識が薄れていませんか？日本は自然災害の多い国です。「災害は忘れたころにやってくる」この言葉を思い出して、近所でまだ参加をされたことがない方がいたら、誘いあつてぜひ参加していただきたいと思います。今年もご協力よろしくお願

いします。

**まるの万代ぶつぶつ**

新潟の冬は重い。冬眠から目覚める春先は体調が乱れガタガタだ。元気を求め早朝にひと気のない街を歩き始める。朝のさわやかな空気を胸一杯吸い込むと、なにやら健康になった気分になる。ゴミのない綺麗な街だ。ANAホテルの周辺ではTさんが、駅前飲食街ではOさんがカラスと闘いながら清掃活動にいそしんでいる。明石通りの歩道の植え込みに咲き誇るピンク色の花は、一人の女性が早朝こつこつと数年がかりで植え増やしたものだ。綺麗な花の絨毯が、栗の木バイパスまで続く。地域は早朝のボランティアにも支えられている。清々しさをそのまま胸に散歩からもどる。ごみ出しの時間にはまだ早い。「よし・・・」公園の草取りに向かう。 丸山 健一

**“朝の風景”**

**編集後記**

“みやの万代ぶつぶつ”は宮川氏が2011年から、地域の課題について視点を変えて32号まで長きに亘り寄稿してくれました。硬軟絢い交ぜの辛口のコラムが好評でした。今般33号から会計理事を務める丸山氏が引き継ぐこととなり、さわやかな地域コラム「まるの万代ぶつぶつ」を、これから乞うご期待ください。

編集委員：田所 暁雄